

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
【発行日】平成 18 年 3 月 2 日 (2006.3.2)

【公開番号】特開 2002-109814 (P2002-109814A)  
【公開日】平成 14 年 4 月 12 日 (2002.4.12)  
【出願番号】特願 2000-299194 (P2000-299194)  
【国際特許分類】

**G 1 1 B 17/26 (2006.01)**

【F I】

G 1 1 B 17/26

【手続補正書】  
【提出日】平成 18 年 1 月 13 日 (2006.1.13)  
【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】発明の名称  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【発明の名称】情報ディスク装置

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ディスクをディスクトレイに搭載した状態で内蔵したカートリッジが  
用いられ、ディスクに対して少なくとも記録または再生の一方を行うためのピックアップ  
と、ディスクに対して少なくとも記録または再生の一方を行うため前記ディスクトレイ全  
体を前記カートリッジから装置本体内に引き出し、かつ前記ピックアップが設置されてい  
る部位まで搬送する搬送機構とを備え、前記ディスクトレイの一部に弾性係止部を設け、  
ディスクトレイがカートリッジから引き出された状態で前記弾性係止部と着脱可能に係合  
する係止部を前記カートリッジに設け、さらに前記搬送機構の一部に、前記ディスクトレ  
イが前記カートリッジから引き出された状態で前記ディスクトレイの弾性係止部を弾性変  
形させて、前記カートリッジの係止部との係合を解除させる解除部材を設けた情報ディス  
ク装置において、

前記ディスクトレイが前記カートリッジに収納された状態において、前記弾性係止部が  
未変形状態になるように構成したことを特徴とする情報ディスク装置。

【請求項 2】 前記カートリッジにおける前記弾性係止部の対向部位に空間部を設け  
たことを特徴とする請求項 1 記載の情報ディスク装置。

【請求項 3】 前記カートリッジに複数枚のディスクを個別のディスクトレイに搭載  
し、各ディスクトレイに前記弾性係止部を設け、各ディスクトレイの各前記弾性係止部  
に対応させて前記空間部を前記カートリッジに設けたことを特徴とする請求項 2 記載の情報  
ディスク装置。

【請求項 4】 前記ディスクトレイを前記ピックアップが設置されている部位まで搬  
送した状態において、前記弾性係止部が未変形状態になるように前記搬送機構における前  
記弾性係止部の対向部位に空間部を設けたことを特徴とする請求項 2 または 3 記載の情報  
ディスク装置。

【請求項 5】 前記空間部として前記搬送機構の一部に嵌合部を設け、前記ディス  
クトレイを前記ピックアップが設置されている部位に搬送するまでにおける前記搬送機構と

の当接部位が、前記ディスクトレイを前記ピックアップが設置されている部位まで搬送した状態において前記嵌合部に適合することを特徴とする請求項4記載の情報ディスク装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報記録/再生用のディスクをディスクトレイに搭載した状態で内蔵したカートリッジを用い、選択されたディスクをカートリッジから引き出すようにして、そのディスクに対して記録/再生を行う構成の情報ディスク装置に関し、特にディスクトレイの弾性係止部のクリープ防止構成に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、前述した特願平11-232441号明細書に記載した情報ディスク記録/再生装置を更に改良し、弾性係止部のクリープが発生することを防止することにより、ディスクトレイの弾性係止部が経時及び環境の影響を受けずにディスクトレイがカートリッジから引き出された状態で前記弾性係止部と着脱可能に係合するカートリッジ係止部分に確実に止ることを可能にした情報ディスク装置を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため、本発明は、ディスクをディスクトレイに搭載した状態で内蔵したカートリッジが用いられ、ディスクに対して少なくとも記録または再生の一方を行うためのピックアップと、ディスクに対して少なくとも記録または再生の一方を行うため前記ディスクトレイ全体を前記カートリッジから装置本体内に引き出し、かつ前記ピックアップが設置されている部位まで搬送する搬送機構とを備え、前記ディスクトレイの一部に弾性係止部を設け、ディスクトレイがカートリッジから引き出された状態で前記弾性係止部と着脱可能に係合する係止部を前記カートリッジに設け、さらに前記搬送機構の一部に、前記ディスクトレイが前記カートリッジから引き出された状態で前記ディスクトレイの弾性係止部を弾性変形させて、前記カートリッジの係止部との係合を解除させる解除部材を設けた情報ディスク装置において、前記ディスクトレイが前記カートリッジに収納された状態において、前記弾性係止部が未変形状態になるように構成したことを特徴とする。このような構成により、カートリッジ装着状態において、ディスクトレイの弾性係止部が自由な状態を保てるため、弾性応力がかからなくクリープ現象が発生せず、前記ディスクトレイが長時間カートリッジ装着にあっても、再びディスクトレイがカートリッジから引き出された際に、弾性係止部がカートリッジの係止部分に確実に係止させることができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

図1は本発明の実施形態を説明するための情報ディスク装置の分解斜視図であり、1はディスク2を載置するディスクトレイ、3は、一方側が開放され、内部に複数枚のディスクトレイ1が出し入れ可能に装着される箱状のカートリッジである。そして、カートリッジ3が出し入れされる挿入口4を有するフロントカバー5と、トップカバー6と、アンダーカバー7と、サイドフレーム8、9と、リアフレーム10とにより装置本体の外装体が構成される。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

本発明の実施形態を説明するための情報ディスク装置の分解斜視図